



未来調査2026-2030 全産業編



経営者や次世代リーダー中心に5年半・55回・延べ3.8万人を徹底調査。
生成AI、インドシフト、カーボンニュートラル、地政学リスク、賃上げ動向など100を超えるテーマを総力分析。

36.3%—。今後5年間に生成AIを活用したビジネスを新規に立ち上げる予定はあるかとの調査質問に対して、「すでに立ち上げた」「立ち上げを準備・検討している」「立ち上げる可能性がある」のいずれかの回答をした人の割合です。生成AIが社内利用のみならず、顧客向けビジネスにおける活用も着々と進む“少し先の未来”が見えてきます。『未来調査2026-2030 全産業編』は、日経BP 総合研究所の独自調査プロジェクト「5年後の未来に関する調査」をベースに分析したビジネスの未来像を豊富に掲載。今回の特集は「5年後の『生成AI活用』とテクノロジー」です。ビジネス立ち上げ意向のほか、作りたいコンテンツ、利用の課題など、5年後の生成AI活用像を浮き彫りにします。ほかにもインドシフトやカーボンニュートラル、地政学リスク、賃上げ動向、人材戦略など、収録テーマは100を超えます。そのベースは5年半・55回にわたり次世代リーダーを中心として延べ3.8万人に聞いた調査と、定量的・客観的な独自分析です。社会が不連続に変化するなか、企業経営、新事業や新商品、技術開発を取り巻く環境はどう変わっていくのか。豊富なビジュアルデータを組み合わせ、「未来に向けたエビデンス」を提示します。

- 監修：日経BP 総合研究所 未来ビジネス調査チーム
- 2026年1月30日発行予定
- レポート：A4判、約500ページ
- 価格
 - 書籍とオンラインサービスのセット：990,000円（10%税込）
 - 書籍のみ：660,000円（10%税込）
- 発行：日経BP